

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人松涛会	代表者	斎藤 妙子	法人・事業所の特徴	一人ひとりのケアを大切に利用者の意思を尊重した介護支援を目標に実施して参ります。「あなたの歓びがわたしの生きがいです」をスローガンとしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 やすらが丘	管理者	野端 佳恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	タブレットが導入されるので、ケア記録のICT化により業務効率が上がると考えられる。利用者とのレクリエーションやケアの充実にあてていきたい。	生産性向上委員会を設置し、レクリエーションや生活機能向上訓練の時間を多くとれるよう業務の見直しを行っている。タブレットの活用について課題がたくさんある。	業務の見直しを行い、レクリエーションや機能向上に取り組んでいる。業務改善に皆で取り組み、余裕が生まれた際は利用者のケアの充実にあてていけたらよい。	生産性向上委員会や高齢者虐待防止委員会の計画的な運営により、より良いケアを行う。担当者主体のモニタリングやカンファレンスにより、個別的なケアを行い利用者満足度が向上出来るようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	訪問マッサージや散髪、お花のボランティア等介護保険以外のインフォーマルサービスを今後も継続する。見学会等地域の方に来ていただけるイベントを企画する。	事業所の夏祭りには近隣の方にも来ていただけるようお声かけをした。ボランティアやご家族にも来ていただけ交流出来た。習字やお花のサークル活動も継続している。	明るい雰囲気や季節感を大切にしている様子がわかる。ご家族の意見があり脱臭機や空気清浄機を購入し、環境整備に取り組んだ。夏祭りや音楽会を行い、地域の方やボランティア、ご家族に参加していただける企画をしている。	今後も地域の方やボランティア、ご家族が来所しやすい雰囲気づくりを行う。笑顔での挨拶や、理念の唱和を朝礼で実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	今後も定期的にチラシ等を作成することで、地域の方に知っていただく。地域の行事へも参加し、地域の方が気軽に相談に来ることができる事業所となりたい。	年2回回覧板でのチラシ配布を行っている。子ども食堂や夏祭り、清掃活動、御神輿など地域の行事への参加を増やしている。	運営推進会議に参加している者以外は、他の事業所との違いや、どんな施設なのかわからないのではないかな。行事やイベントへの参加は写真入りの資料があり、良くわかるようになっている。	事業所の内容が分かるよう地域に広報を行っていく。今後も積極的に地域活動に参加し、地域に根差した事業所となる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域に出向く事で、近隣の方との交流も行い、何かあれば頼れる事業所となるようにしたい。	地域の祭りや思い出の場所に出かけることで利用者の方の新たな一面を知る事にも繋がっている。職員のモチベーションも向上できると思う。	プライバシーに配慮したうえで交流ができればよい。地域に出向くことで地域の方と顔なじみになれるので今後も積極的に参加をお願いしたい。	利用者それぞれのニーズに合わせた交流を今後も行っていく。地域の方と顔なじみとなり、相談できる拠点となりたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通して、地域にとってどのような事業所が良いのかを一緒に考えていきたい。他の事業所とのつながりも強め、色々な事例に対応できるようにしたい。	運営推進会議を通じて、情報交換や地域活動への参加が増加したと思う。地域での事例等も一緒に考えていきたいと思う。	運営推進会議で様々な情報や意見が出ていると思う。今後地域の困りごとの拠点となるようご尽力いただきたい。地域での事例も一緒に考えていけるとよい。	運営推進会議や地域連絡会へも参加し、他の事業所との連携しながら様々な事例に対応できる事業所となるようにする。インフォーマルサービスや他の介護サービスの情報を収集する。
F. 事業所の防災・災害対策	B C Pや災害のシュミレーションを通して、地域の方の避難拠点としての想定を行っていく。地域の方が避難時に持ってきていただきたいものや、職員の役割分担など具体的な備えをしたい。	ケアタウン安岡と協力して防災訓練を行っている。防災時に貸し出しが出来るようマットレスやシーツなどは少し多めに置き置くようにしている。備蓄食品等の確認や保管倉庫の場所も変更した。	海岸に近く、最近1年に1度は津波に関する警報や注意報が発令されている。そのようななか、自発的に他のサービスと協力して防災訓練を実施しており、心強く思う。	災害の種類の応じた備えを具体的に。他のサービスや近隣住民とともに訓練を行う。